


苫小牧市

所属議員

牧田俊之。

産業目線

<p>【活動選定項目】</p>	<p>① カーボンニュートラル(CN)への対応</p>	
<p>具体的取組項目</p>	<p>カーボンリサイクルに係る技術調査事業の実証試験への移行 ・キーテクノロジーのメタネーション等の実証試験誘致 ZEH〔ネットゼロエネルギーハウス〕の推進</p>	
<p>前回まで 活動状況</p>	<p>① 12月議会 一般質問 脱炭素先行地域選定応募について内容聞き取り。 水素・ZEH への取り組みについて確認。</p>	
<p>今回 具体的活動</p>	<p>【2月議会】 代表質問及び予算審査特別委員会 代表質問 ・苫小牧港カーボンニュートラルポート形成計画について 今年開港60周年を迎える北日本最大の港湾、今後の展望。物流の変容について〔モーダルシフトの可能性〕 : 実証プロジェクトの誘致に努め、その取り組みの組成支援や課題解決につなげることが重要。 モーダルシフトについては、国・北海道・JR 北海道・JR 貨物で非公開協議されている。 ・ゼロカーボンの取組について 2030 年度の目標値が示された。評価時期と手法について : 手法については環境省「積上法による排出量算定支援ツール」を活用する。時期については 2031 年を予定。 脱炭素先行地域(3 回目)応募について : 2月 17 日に第 3 回目募集に応募。詳細については控えたい。一定の市内エリアにおいて企業と連携し、民生と産業の脱炭素化を進める取り組みとしている。電力の地産地消モデルとなる。</p> <p>予算審査特別委員会 ・ゼロカーボンハウス促進補助について 市内工務店や市民の反響はどうか、想定の子数はいくつか : 工務店やハウスメーカーからは「国の補助は時期によって活用できない場合があり、市の補助を活用したい」市民からは見学会で「冬の寒さが厳しいので暖かい住宅はありがたい」といった声が寄せられている。 想定の子数は ZEH34 件、太陽光発電システムと蓄電池が 140 件、HEMS50 件、V2H10 件エコキュート 100 件、給電装置 10 件を想定している。</p>	 <p>予算審査特別委員会</p>
<p>今後の活動</p>	<p>・水素・カーボンリサイクル取組働きかけ ・再生可能エネルギー実証の推進</p>	<p>トピックス ① 脱炭素先行地域(第3回)選定結果は残念ながら落選。</p>